

平成19年度「特許ビジネス市」

「平成19年度第3回特許ビジネス市 in 東京」
(食品・バイオ / 化学・薬品 / 材料)

開催結果報告書

平成20年2月

独立行政法人 工業所有権情報・研修館

1. 開催内容

1) 開催日時・会場・発表案件数・参加者数

日時：平成20年1月29日(火) 10:30~16:00

場所：ホテル日航東京 1階シリウス

発表案件数：食品・バイオ/化学・薬品/材料の技術分野より8件

参加者数：198名

2) プログラム

プログラムを表1に示す。

各案件の発表は、プレゼンテーション15分、質疑応答10分、アライアンスに関するアンケート5分とし、計30分の時間配分で行った。

表1 プログラム

時刻	発表案件	案件提供者
10:30~10:45	主催者挨拶、オリエンテーション	
10:45~11:15	生分解性シートおよびその製造方法並びに当該シートを用いた成形品およびその製造方法	橋本 健二
11:15~11:45	生分解速度が制御された生分解性樹脂	宮城県
11:45~12:15	耐衝撃性の優れた熱可塑性プラスチック複合材の製造方法	愛知県
12:15~13:15	<昼食休憩>	
13:15~13:45	細胞資源を用いない自己組織化技術による再生医療用バイオマテリアルの実用化開発	聖マリアンナ医科大学
13:45~14:15	新種ツツジの育成技術	株式会社鹿児島TLO
14:15~14:45	アンモニア態窒素を窒素ガスに変換する新しい生物的方法	東京工業大学
14:45~15:15	カロテノイド色素の製造方法	東北大学、宮城県
15:15~15:45	紫外線遮蔽剤や赤外線遮蔽剤を含有した塗膜を形成する塗装方法	株式会社フミン
15:45~16:00	総評	

3) 当日の状況

平成19年度第3回特許ビジネス市 in 東京は、「食品・バイオ/化学・薬品/材料」分野の8案件について各発表者から案件の技術内容・効果、ビジネスプラン、ライセンス条件等についての説明があり、招聘者6名及び一般192名の計198名が参加して、各案件に関する質疑応答のほか、電子集計システムを用いて各案件に対する売上予測や支援協力の申し出等に関する投票を行った。また、会場外のロビーに設けた展示ブースでは、昼食休憩時や案件発表終了後に熱心な質疑が行われたほか、別に準備した個別相談コーナーにおいても多数の相談が行われた。

最後に招聘者代表から本ビジネス市の総評として、「より多くの成約と事業化に向けて、ご出席の皆様のサポートをお願いしたい」とのコメントがあった。

会場全景



主催者挨拶



受付風景



電子投票風景



展示コーナー風景



2) 一般参加者アンケート結果

一般参加者のアンケート結果を表3～5.3及び図1～3.3に示す。

一般参加者の職業

表3 一般参加者の職業

選択項目	割合(%)
一般企業(大企業)	16%
一般企業(中小企業)	31%
知的財産関連企業	8%
大学・公的研究機関	12%
地方公共団体等	20%
個人	2%
その他	11%

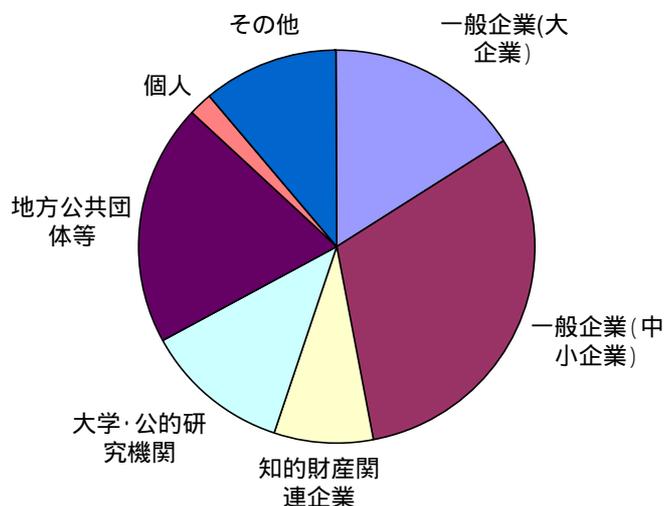


図1 一般参加者の職業

一般参加者の職種

表4 一般参加者の職種

選択項目	割合(%)
研究職	17%
知的財産等管理部門	26%
経営者	13%
技術職	8%
事務職	13%
その他	23%

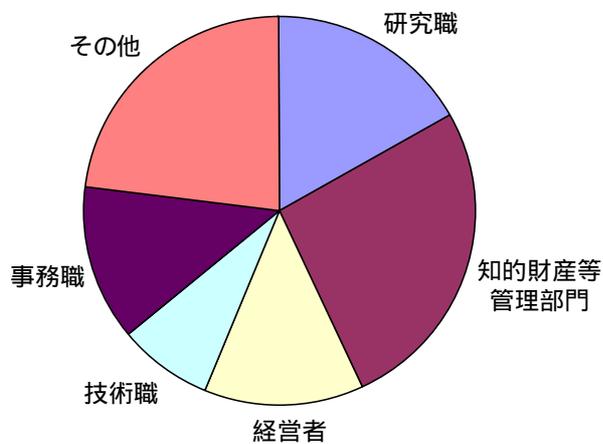


図2 一般参加者の職種

「平成19年度第3回特許ビジネス市」全体について（全て5段階評価）

i) 内容について

表5.1 全体内容の評価

選択項目	割合(%)
大変良かった	22%
良かった	68%
普通	10%
良くなかった	0%

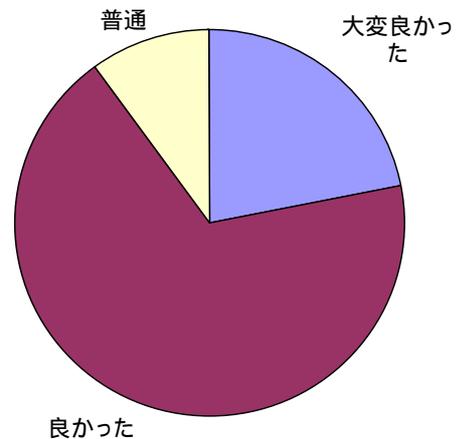


図3.1 全体内容の評価

ii) 案件の選定について

表5.2 案件選定の評価

選択項目	割合(%)
大変良かった	17%
良かった	65%
普通	18%
良くなかった	0%

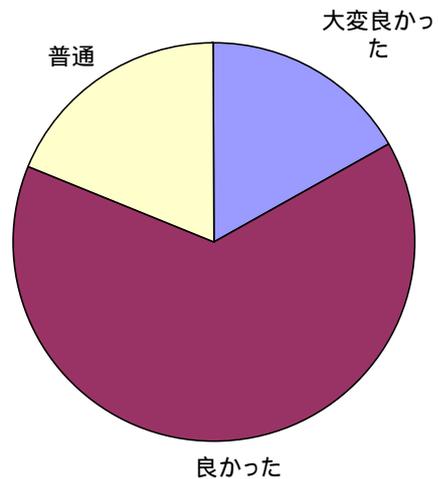


図3.2 案件選定の評価

iii) 今後の継続開催について

表5.3 今後の継続開催について

選択項目	割合(%)
ぜひ継続してほしい	42%
継続してほしい	54%
どちらとも言えない	4%
あまり必要ない	0%

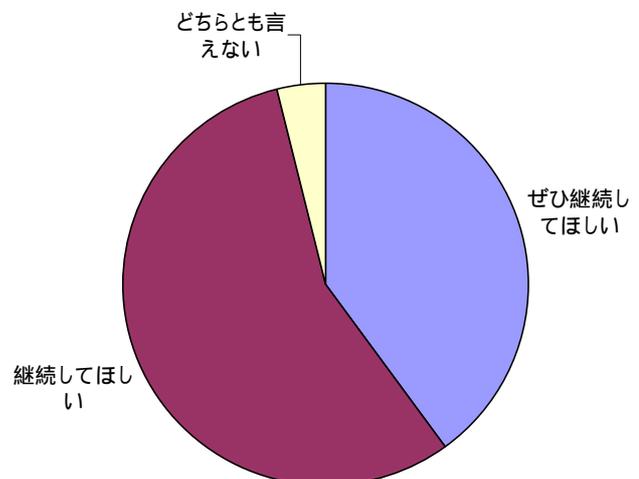


図3.3 継続開催に対する意見